

姉妹都市ブラジル・サントス市に寄贈した  
長崎市の路面電車の運行開始について

担当所属 秘書広報部国際課  
担当者 執行  
内 線 2120  
直 通 095-829-1113

## 1 初運行

日時：2019 年 10 月 5 日

場所：ブラジル・サントス市 第 1 回移民祭り

## 2 運行までの主なイベント

時期	内容
2012(H24)年 8 月	姉妹都市提携 40 周年記念訪問に併せ、田上市長がサントス市パパ市長に対し路面電車の寄贈を約束。目録として電車のパーツを手渡す。
2014(H26)年 10 月 10 日	長崎がんばらんば国体に合わせたブラジル長崎県人会の里帰りとともに、中井貞夫サントス市議会議長・夫人とルイス・ギラマエス同市観光局長が来崎。長崎電気軌道浦上車庫で路面電車と龍の贈呈式を実施。
2015(H27)年 11 月 26 日	長崎電気軌道浦上車庫から、路面電車 206 号運び出し。 長崎→(陸走)→博多→釜山→サントス
2016(H28)年 1 月 25 日	サントス港到着。
2016(H28)年 2 月 2 日	サントス市で到着記念式典が開催される。バルボーザ市長、中前駐サンパウロ日本総領事、貞方顧問をはじめとするブラジル長崎県人会のメンバーなど総勢100人が出席。
2019(R 元)年 10 月 5 日	サントス市の「第 1 回移民祭り」で路面電車が披露され、初運行を行った。バルボーザ市長、サントス日本人会中井貞夫会長、川添博会長をはじめとするブラジル長崎県人会のメンバーなど、およそ50人が駆け付け初運行をお祝いした。 運行の際は、同じく長崎市が寄贈した龍踊りが電車を先導した。

## 3 路面電車 206 号のスペック

製造年：昭和 25 年（1950 年）

構造：鋼製・一部木製（床、ドア）

外形：全長 11m、全幅 2.26m、全高 3.6m

（パンタグラフ除く 3.1m）

重量：16 t（台車除く 12 t）

パンタグラフ形状：Z 型

起動電圧：直流 600V

モーター出力：38Kw×2 台

軌間：1435 mm

## 4 記念プレート



### 日本語訳

第一回サントス移民祭りに際し、それを記念し、長崎市より寄贈された電車 206 号車が走り始めます。

笠戸丸がサントスへ入港して以来、100 有余年の時を経た今、電車は日系社会とサントス市との絆をさらに強固にしてくれるものです。

交通局の技術により、新装された電車は、姉妹都市長崎の歴史の一端を乗せて、生きた博物館としてサントスの町を訪れる人と共に走ります。

電車は日本とブラジルの文化交流と両国民の友好団結のシンボルとして、重要な存在となってくれることを望んでおります。

サントス 2019 年 10 月 5 日  
パウロ・アレクサンドレ・バルボーザ  
サントス市長